

2019年3月25日

フィコサ・インターナショナルS.A.との協業開発による新製品
「ETC2.0車載器内蔵インナーミラー」が
日本向けBMW X5の標準装着品に採用

パナソニック株式会社 オートモーティブ&インダストリアルシステムズ社は、スペインの自動車部品・システムサプライヤーであるフィコサ・インターナショナルS.A.（以下、フィコサ社）との協業開発による新製品「2.0車載器内蔵インナーミラー（以下、ETCミラー）」がBMWの日本市場向け新型X5（2019年2月28日発売）の標準装着品として採用されました。

本製品は「電子インナーミラー」テレマティクス・コントロール・ユニット（TCU）に次ぐ協業開発の新製品で、フィコサ社が持つミラー技術とパナソニックのETC無線通信技術を融合させて開発した製品です。

ETCミラーは、インナーミラーにETC2.0車載器を内蔵することで、ドライバーの視界を妨げることなくETC装着が可能。ETCカードはミラー側面から挿入し、ミラー内部に収納する為、カードの有無が外側から見えにくく、盗難防止にも効果的です。

当社は、今後もフィコサ社との協業を一層強化し、協業開発商品の拡大と受注獲得に向けて取り組んでいきます。

以上

プレスリリースの内容は発表時のものです。

商品の販売終了や、組織の変更等により、最新の情報と異なる場合がありますのでご了承ください。